

Press Release

令和6年9月3日
厳木市民センター

5年ぶりの^{ひろせ ぶりゅう}広瀬浮立奉納

厳木町広瀬地区において伝承されている広瀬浮立が、5年ぶりに奉納されますのでお知らせします。

- 1 期日 9月8日(日)
道行き・・・広瀬集会所14時出発
境内奉納・・・天山神社境内15時頃
- 2 場所 天山神社(厳木町広瀬)
雨天時は天山神社境内にて実施

3 広瀬浮立の概要

天山神社境内において、天山神社の末社である八幡神社および西^{にしうど}字土から合祀された宮地嶽神社に奉納されている浮立。その始まりの詳細は不明であるが、遅くとも江戸後期には現在の形になったと伝えられている。

浮立衆は、武家風のかみしも姿に白扇を腰に差した古風ないでたちで武家風の厳肅さを保ち、笛や鼓、大胴、締太鼓、かね、大太鼓の6種類の楽器により厳かに奉納される。県内浮立の多くが複合芸能の形をとるのに対し、雑事が一切入らず、厳肅な神事芸能の形態を継承しているのが大きな特徴。

佐賀県重要無形民俗文化財(昭和48年指定)

連絡先: 広瀬浮立保存会 会長 曲渕 俊之 (Tel090-2399-6610)

(本件の問い合わせ先)

厳木市民センター産業・教育課教育係
担当: 林田

電話: 直通 53-7117 (内線 5150)